

令和 6 (2024)年度

施策評価にかかる『成果指標』把握のための
市 民 意 向 調 査 報 告 書

令和 6 (2024)年 6 月

栃木県真岡市

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	
(2) 調査対象地域	
(3) 調査対象者	
(4) 抽出方法	
(5) 調査方法	
(6) 調査期間	
(7) 回収状況	
2 調査の結果	3
問 1 性別	3
問 2 年齢	3
問 3 居住地区	3
問 4 現在の真岡市のイメージ	4
問 5 真岡市が「どのようなまち」になったら良いか	6
問 6 今後のまちづくりで力を入れてほしい施策	7
問 7 住んでいる地域（町会）の生活環境について	8
【地域情報化について】	
問 8 市政情報の入手方法	10
【生涯スポーツ・レクリエーションについて】	
問 9 現在行っている、また今後行いたいスポーツ・レクリエーション	11
【国際交流について】	
問 10 外国人との交流	13
【男女平等に関する意識について】	
問 11 現在の男女の立場について	14
【男女共同参画社会の実現について】	
問 12 固定的な性別役割分担意識について	15
問 13 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について	15
問 14 DVによる相談機関について	16
【結婚・家庭生活・子育て・介護について】	
問 15 夫婦や家族の間での役割分担	16
【子育てについて】	
問 16 真岡市で今後も子育てをしていきたいと思うか	17
【健康づくりの推進】	
問 17 健康で元気に暮らしていると思うか	17
問 18 健康づくりのために取り組んでいること	18
問 19 健康づくりに関する言葉について	19
【地域医療体制の充実】	
問 20 地域で適切な医療が受けられていると思うか	19
問 21 かかりつけの医療機関の有無	19

【救急救助と救急医療の充実について】

問 2 2	過去 1 年間で救急車や救急病院の利用の有無	20
問 2 3	救急車や救急病院の対応の満足度	21

【高齢者福祉の充実について】

問 2 4	高齢者福祉で力を入れてほしい施策	21
-------	------------------	----

【自然環境の保全と保護について】

問 2 5	自然環境の保全活動への参加	22
問 2 6	環境保全に関するボランティアへの関心	23
問 2 7	家庭で地球温暖化対策に取り組んでいること	24

【消防・防災対策について】

問 2 8	災害に対して備えていること	25
問 2 9	防災情報の入手方法	25

【防犯対策について】

問 3 0	犯罪に対する不安	26
-------	----------	----

【農業の振興（食育の推進）について】

問 3 1	食育への関心	27
問 3 2	食品の安全性への不安	27
問 3 3	食事バランスガイドの内容の理解	27

【消費者の自立と保護について】

問 3 4	消費生活や相談窓口の情報を十分に得られているか	28
-------	-------------------------	----

【市民協働のまちづくりについて】

問 3 5	地域での活動への参加状況	29
-------	--------------	----

【開かれた市政について】

問 3 6	市政に関する情報を得られていると感じるか	29
-------	----------------------	----

【その他】

問 3 7	真岡市の市政（まちづくり）への満足度	30
-------	--------------------	----

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「真岡市総合計画 2020-2024」に掲げる施策をより効果的かつ計画的に推進するため、各施策の『成果指標（市民の皆さまの満足度等）』の把握を目的としたアンケート調査を実施するものである。

(2) 調査対象地域

真岡市全域

(3) 調査対象者

市内に在住する満 18 歳以上の男女

(4) 抽出方法

無作為抽出

(5) 調査方法

①調査票の配布は郵送により実施

②調査票の回収は以下の方法から回答者が選択

○調査票に直接回答記入し、返信用封筒で返送

○P C より調査票に記載したU R L にアクセスし、回答フォームに回答

○Q R コードにアクセス（スマートフォンまたは携帯電話）し、回答フォームに回答

(6) 調査期間

令和 6 年 4 月 1 日～令和 6 年 4 月 19 日

(7) 回収状況

◇配 布 数 : 3,000 票

◇有効回収数 : 1,281 票

◇有効回収率 : 42.7%

※グラフ・文中の標記について

- ◇グラフの基数は、特に標記のない限り総数（n=1,281）である。
- 基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記している。
- ◇各設問において、次の略称を使用している。
 - SA (Single Answer) : シングルアンサー（一つだけ選択回答）
 - xLA (Limited Answer) : リミテッドアンサー（x 以内選択回答）
 - MA (Multi Answer) : マルチアンサー（複数選択回答）
- ◇表やグラフの構成比は、項目ごとに小数点第2位を四捨五入することから、それらの合計が 100.0%にならないことがある。

※標本誤差について

- ◇この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度を 95%とする。

$$b=1.96\sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

b＝標本誤差
N＝母数集団
n＝基礎・サンプル(回答者数)
p＝回答比率
1.96＝信頼度95%の場合

標本誤差の早見表は下表のとおりである。表の見方は、例えばある質問の回答者数が 1,281 人で、回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差は、最大で±2.71%以内となることを示している。

たとえば、本調査のある設問に対し「そう思う」と回答した人が 50%いた場合、真の値は 95%の確率で 47.3～52.7%の間にある、ということになる。

回答比率 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,281人	±1.63	±2.17	±2.49	±2.66	±2.71
1,200人	±1.68	±2.24	±2.57	±2.75	±2.80
1,100人	±1.76	±2.34	±2.69	±2.87	±2.93
1,000人	±1.85	±2.46	±2.82	±3.01	±3.08
500人	±2.62	±3.49	±4.00	±4.28	±4.37

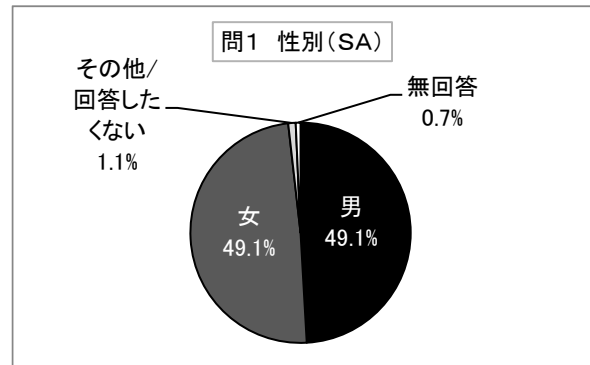
※令和 6(2024)年 4 月 1 日現在における 18 歳以上の真岡市の人口 66,975 人を母集団として計算。
(真岡市住民基本台帳より)

2 調査の結果

【回答者の属性】

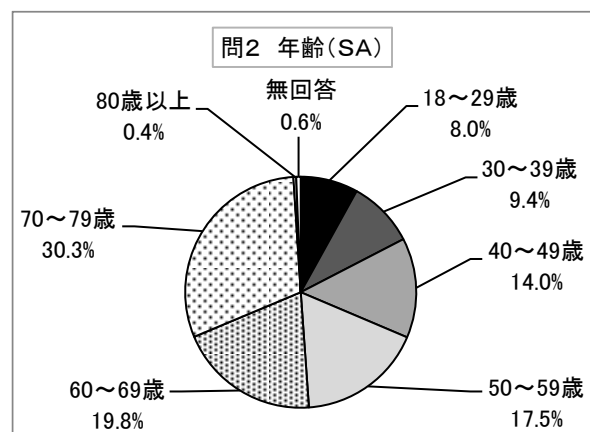
問1 あなたの性別は。

性 別	今回調査数	構成比
男	629	49.1%
女	629	49.1%
その他/ 回答したくない	14	1.1%
無回答	9	0.7%
合 計	1,281	100.0%



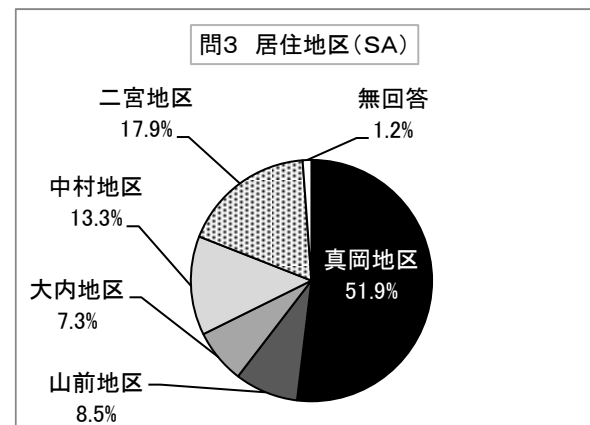
問2 あなたの年齢は。

年 齢	今回調査数	構成比
18～29 歳	103	8.0%
30～39 歳	120	9.4%
40～49 歳	179	14.0%
50～59 歳	224	17.5%
60～69 歳	254	19.8%
70～79 歳	388	30.3%
80 歳以上	5	0.4%
無回答	8	0.6%
合 計	1,281	100.0%



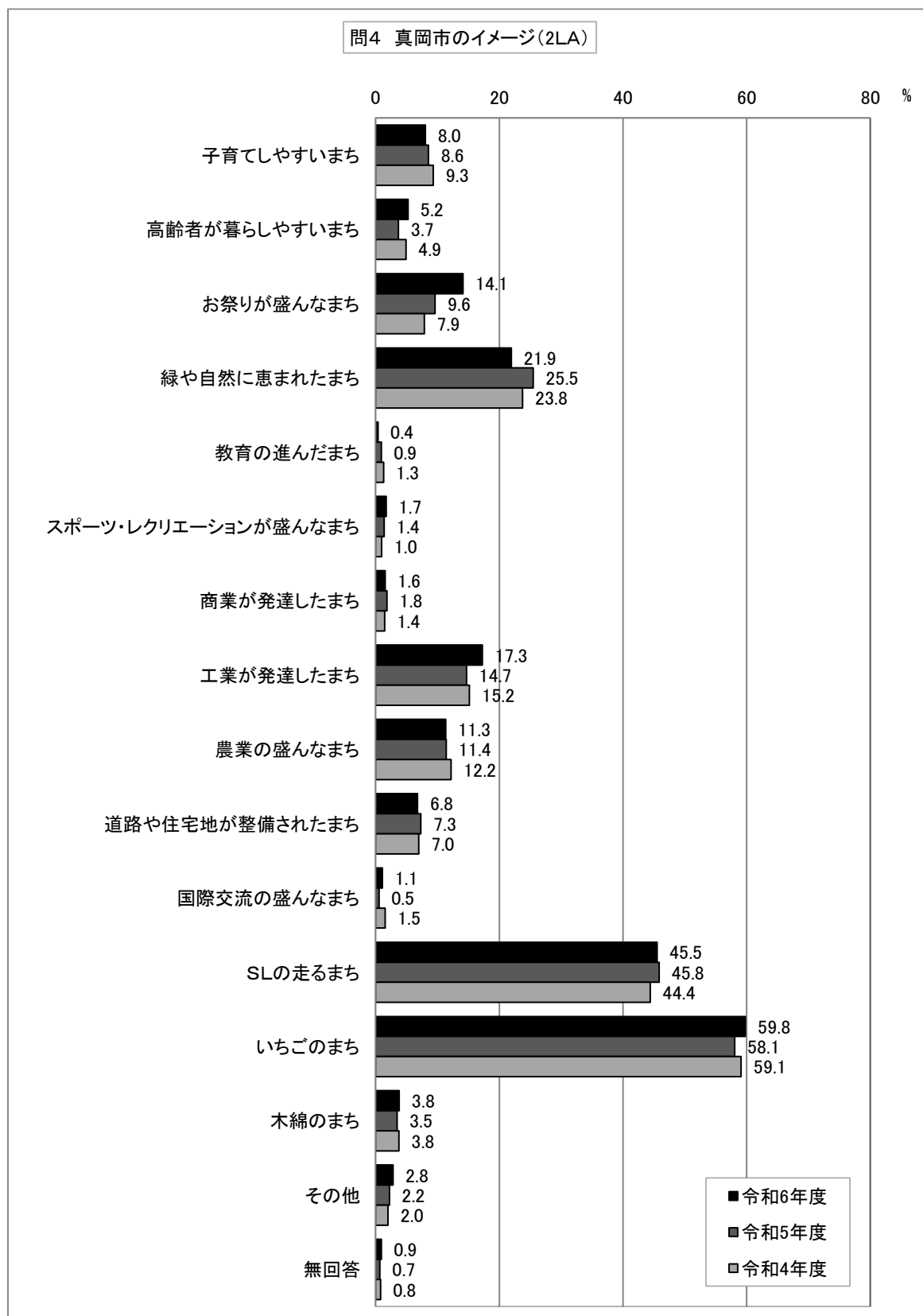
問3 あなたの住んでいる地区は。

居住地区	今回調査数	構成比
真岡地区	665	51.9%
山前地区	109	8.5%
大内地区	93	7.3%
中村地区	170	13.3%
二宮地区	229	17.9%
無回答	15	1.2%
合 計	1,281	100.0%



問4 真岡市について、現在どのようなイメージをお持ちですか。
次の中から2つまで選んでください。

真岡市のイメージについては、「いちごのまち」が59.8%と最も高く、次いで「SLの走るまち」が45.5%であった。



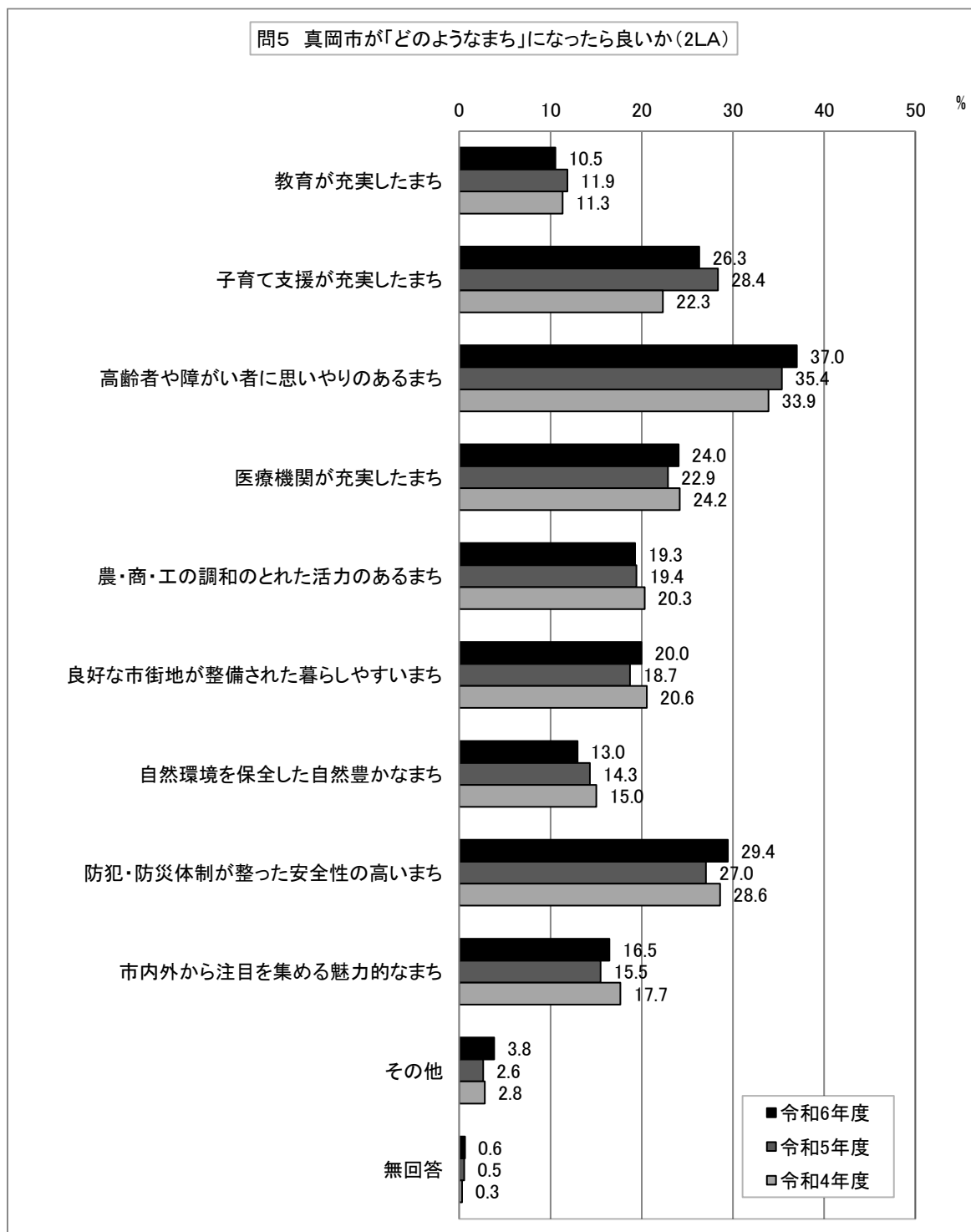
◆◆◆ 施策6-1 都市ブランド戦略の推進

〔成果指標〕 『真岡市を「いちごのまち」とイメージする市民の割合』 (％)

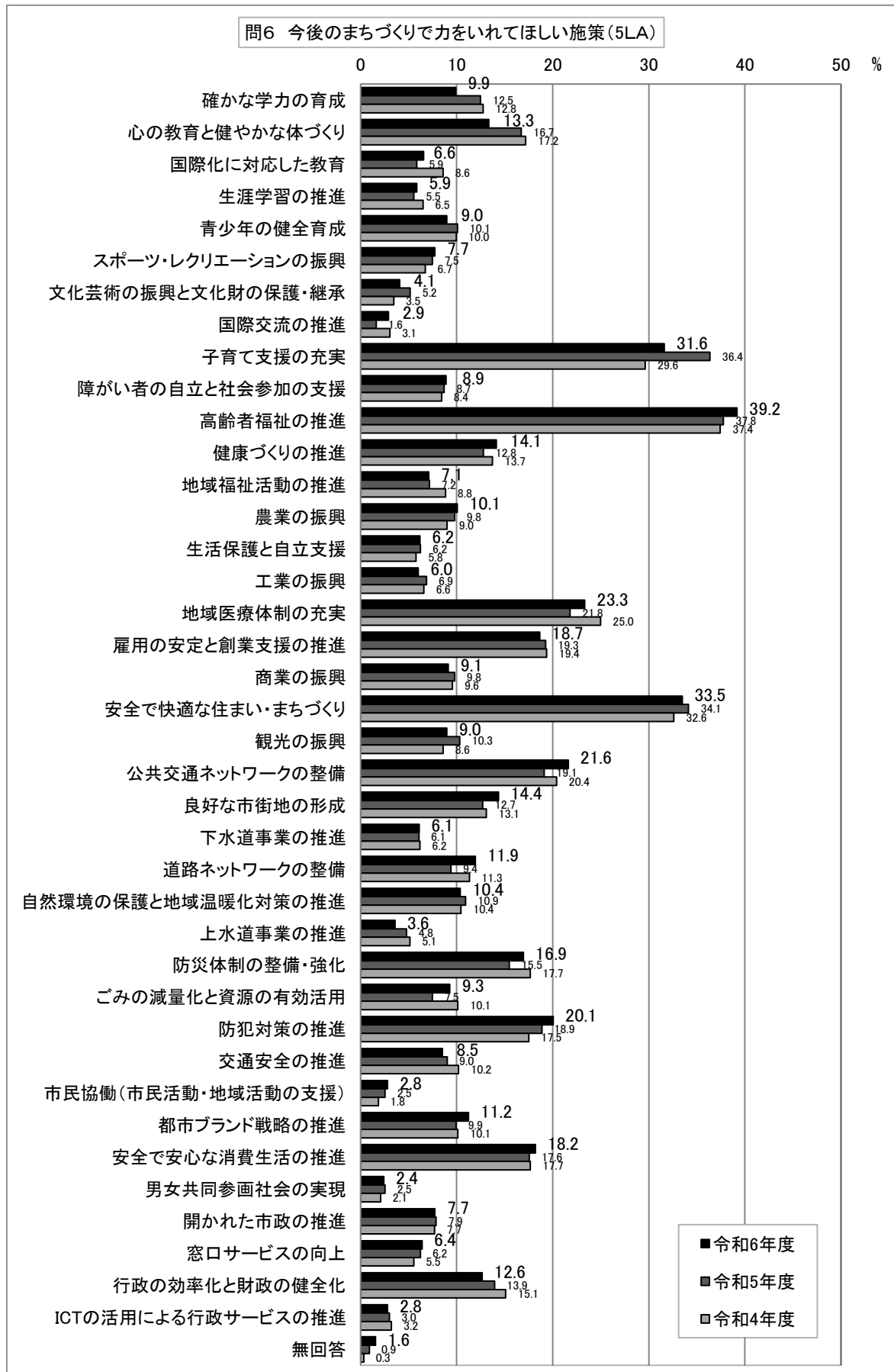
	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
いちごのまち	51.0	63.1	56.0	59.1	58.1	59.8
前年度比	8.2	12.1	-7.1	3.1	-1.0	1.7

問5 あなたは、真岡市が「どのようなまち」になったら良いと思いますか。
次の中から2つまで選んでください。

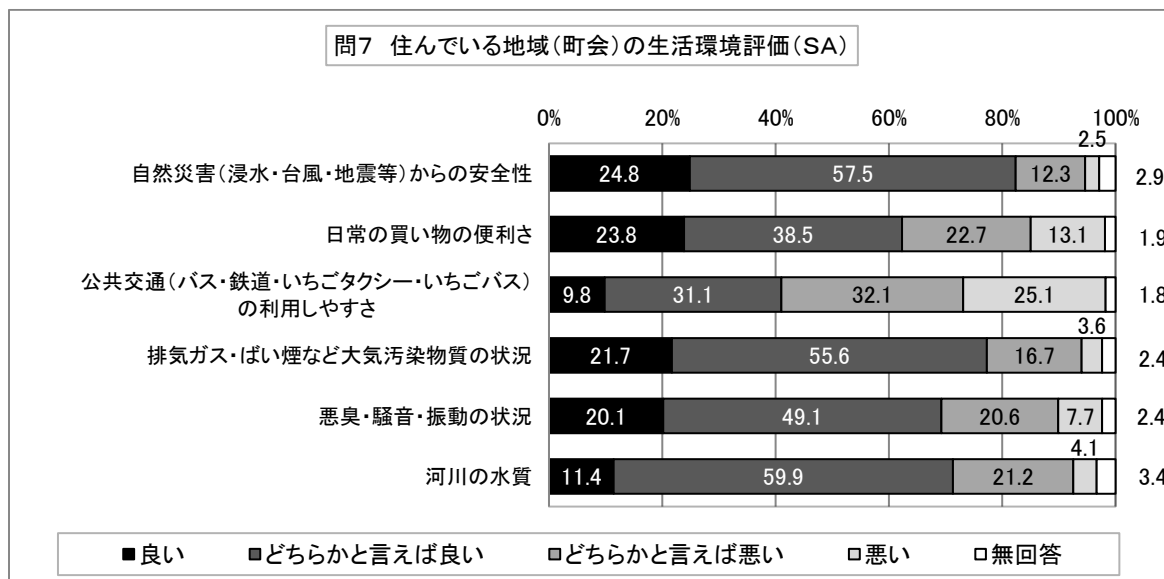
真岡市の将来像については、「高齢者や障がい者に思いやりのあるまち」が37.0%で最も高く、次いで「防犯・防災体制が整った安全性の高いまち」29.4%、「子育て支援が充実したまち」26.3%、「医療機関が充実したまち」24.0%が続いている。



問6 今後のまちづくりについて、あなたが力を入れてほしい施策を5つまで選んでください。



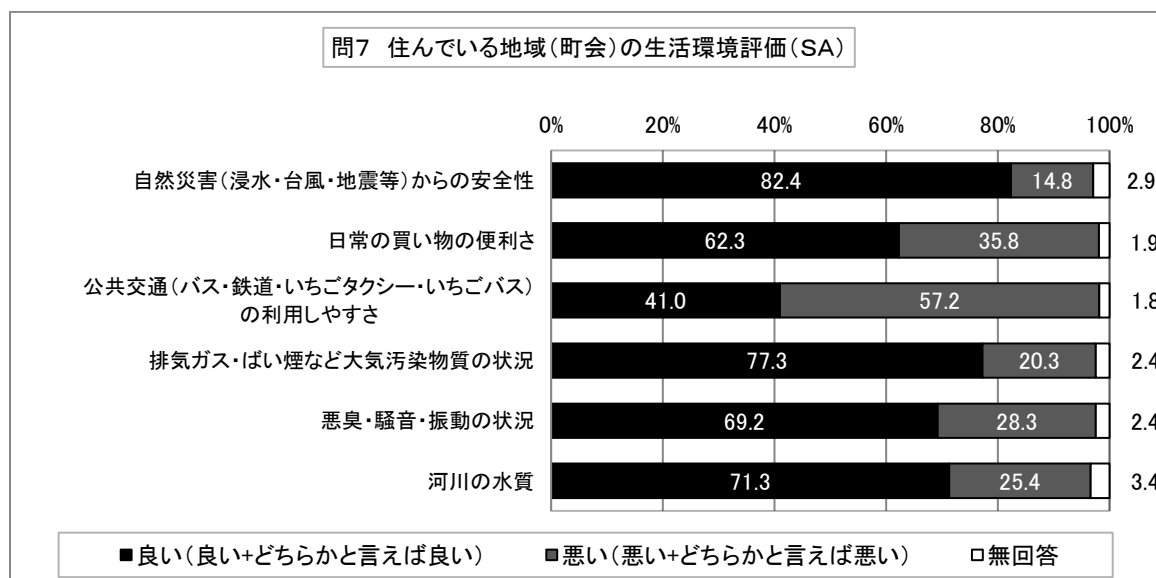
問7 あなたの住んでいる地域（町会）の生活環境について、どのように感じていますか。
それぞれの項目に対して、1から4の中で1つずつ選んでください。



住んでいる地域（町会）の生活環境について、6項目の内5項目が「良い」、「どちらかと言えば良い」を合わせると60%を超えている。最も評価が高い項目は「自然災害（浸水・台風・地震等）からの安全性」で82.4%、次いで「排気ガス・ばい煙など大気汚染物質の状況」で77.3%、「河川の水質」で71.3%の順番であった。

一方、「公共交通（バス・鉄道・いちごタクシー・いちごバス）の利用しやすさ」については、41.0%と特に満足度が低くなっている。

以下は、「良い」+「どちらかと言えば良い」、「どちらかと言えば悪い」+「悪い」の割合を示したグラフである。



※本グラフは、回答項目（良い+どちらかと言えばよい）（悪い+どちらかと言えば悪い）を足した後に小数点第2位を四捨五入しているため、オリジナルの数値と誤差が生じる場合がある。

◆◆◆ 施策５－６ 防災体制の整備・強化 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕 『自然災害からの安全性』

(%)

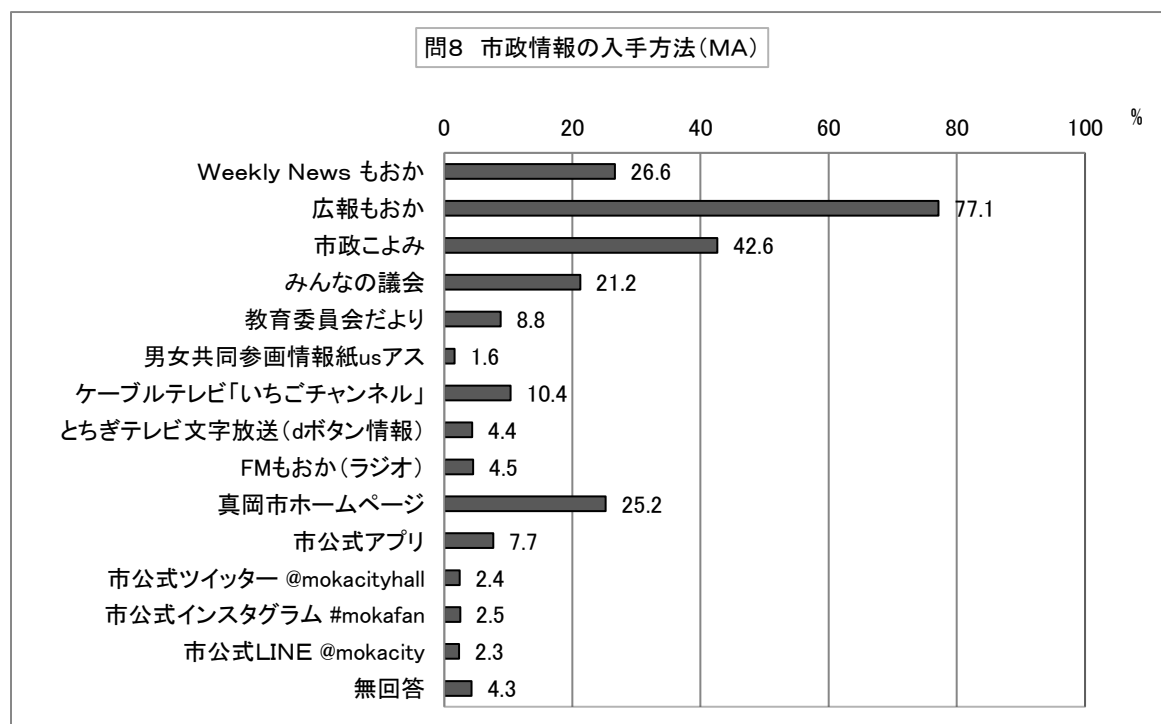
	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
良い	21. 7	24. 1	21. 1	24. 1	28. 3	24. 8
どちらかと言えば良い	58. 3	56. 2	59. 4	56. 4	55. 4	57. 5
合 計	80. 0	80. 3	80. 5	80. 5	83. 7	82. 3
前年度比	-2. 6	0. 3	0. 2	0	3. 2	-1. 4

【地域情報化について】

問 8 あなたは、市政についての情報をどのような方法で入手していますか。

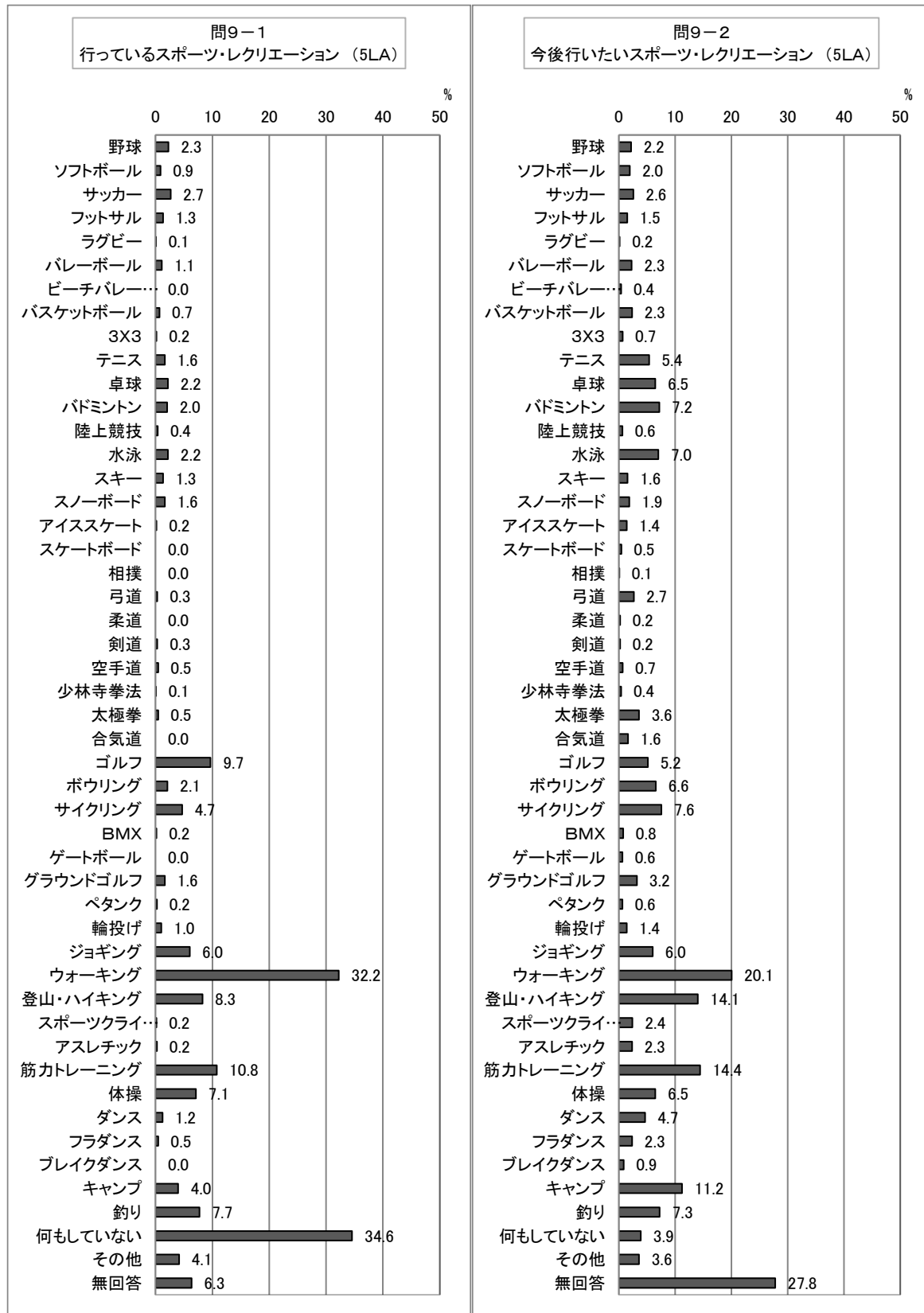
市政の情報入手方法については、「広報もおか」が77.1%で最も高く、次いで「市政こよみ」が42.6%、「Weekly News もおか」26.6%であった。

年代別では、「広報もおか」が80歳以上で100%、70歳代で90.2%、60歳代で83.1%と高い割合であった。



【生涯スポーツ・レクリエーションについて】

問9 あなたは、日ごろどのようなスポーツ・レクリエーションをやっていますか。
また、今後どのようなスポーツ・レクリエーションをやりたいと思いますか。
次の中からそれぞれ5つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。



「今後行いたい」では、「ウォーキング」が20.1%で最も高く、次いで「筋力トレーニング」が14.4%、「登山・ハイキング」14.1%の順であった。

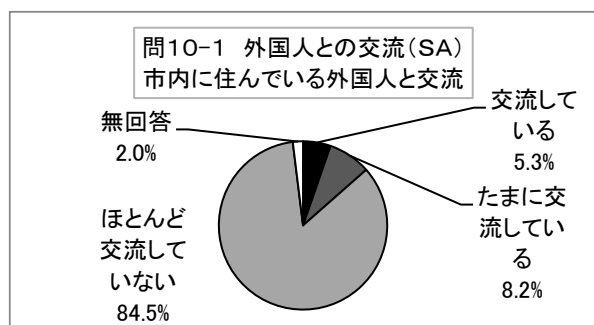
〔成果指標〕 『何らかのスポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合』※ (%)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
行っている	55.5	57.4	60.3	59.5	61.2	59.1
前年度比	-3.0	1.9	2.9	-0.8	1.7	-2.1

12

【国際交流について】

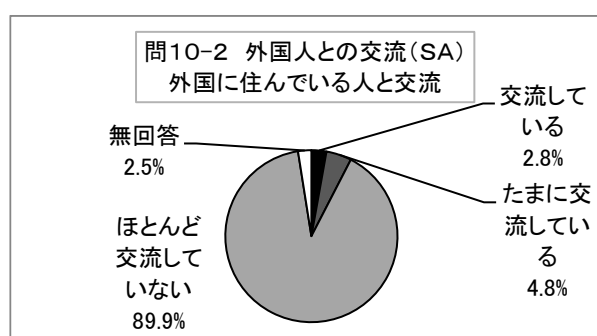
問 10 あなたは外国人との交流がありますか。



市内に住んでいる外国人との交流については、「交流している」、「たまに交流している」を合わせると 13.5%の方が交流している。

性別では、男性が 14.1%、女性が 13.2%であった。

年代別では、50歳代が最も多く、18.8%の方が交流している。



外国に住んでいる人との交流については、「交流している」、「たまに交流している」を合わせると7.6%の方が交流している。

性別では、男性が 8.4%、女性が 6.3%であった。

年代別では、40歳代が最も多く、10.6%の方が交流している。

[illegible]

〔成果指標〕 『国際交流を日ごろから行っている市民の割合』 (%)

①市内に住んでいる外国人との交流

	令和 6 年度
交流している	5.3
たまに交流している	8.2
合 計	13.5
前年度比	-

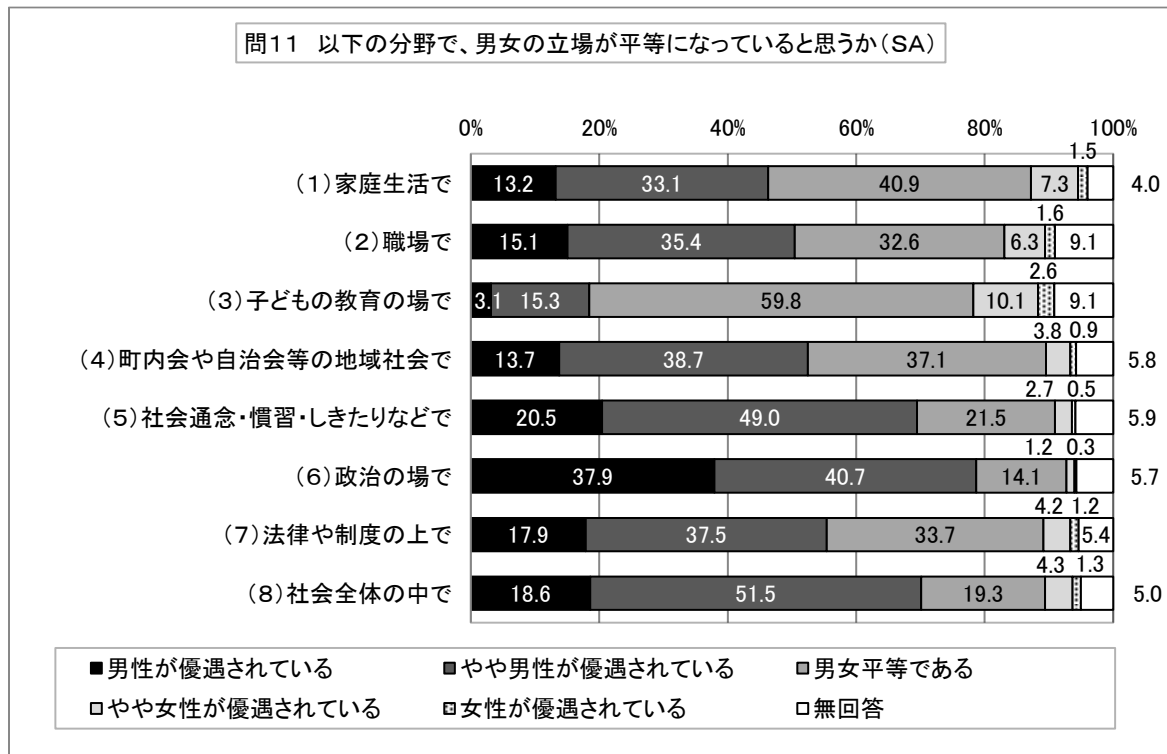
②外国に住んでいる人との交流

	令和 6 年度
交流している	2.8
たまに交流している	4.8
合 計	7.6
前年度比	-

【男女平等に関する意識について】

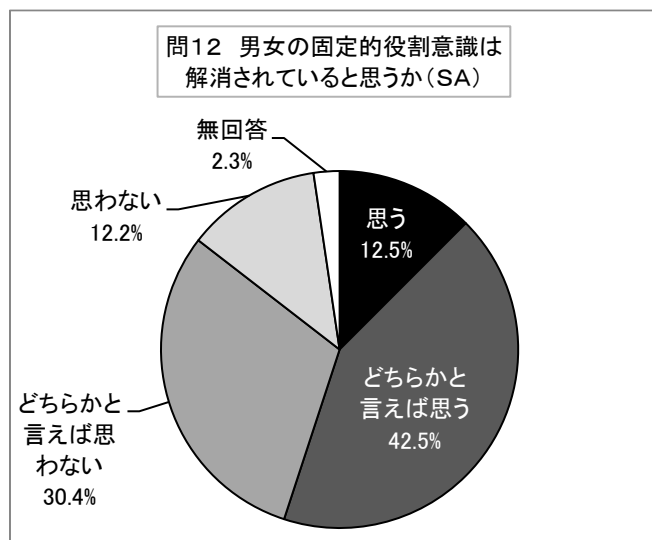
問 1 1 あなたは、次のような分野で、男女の立場が平等になっていると思いますか。

男女の立場の平等については、「男女平等である」が50%を超えている項目は、「子どもの教育の場」59.8%のみで、その他の項目では「男性が優遇されている」、「男性がやや優遇されている」と感じている人が多い。



【男女共同参画社会の実現について】

問 12 あなたは、真岡市において男女の固定的な性別役割分担意識（「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」などの考え方）は解消されていると思いますか。



男女の固定的性別役割分担意識について、解消されていると思う割合は「思う」、「どちらかと言えば思う」を合わせると 55.0%であった。

性別では、男性が 56.8%、女性が 53.7%であった。

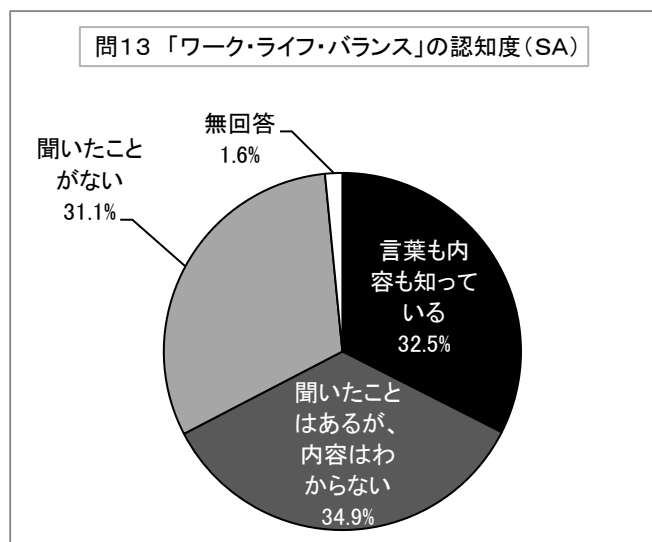
一方、解消されていないと思う割合が最も高い年代は、40歳代の54.2%であった。

◆◆◆ 施策6-3 男女共同参画社会の実現

〔成果指標〕 『男女の固定的役割意識は解消されていると感じる市民の割合』※ (％)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
思う	11.5	12.8	11.6	11.0	11.9	12.5
どちらかと言えば 思う	40.8	41.4	40.5	43.5	39.8	42.5
合 計	52.3	54.2	52.1	54.5	51.7	55.0
前年度比	-1.4	1.9	-2.1	2.4	-2.8	3.3

問 13 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を聞いたことがありますか。

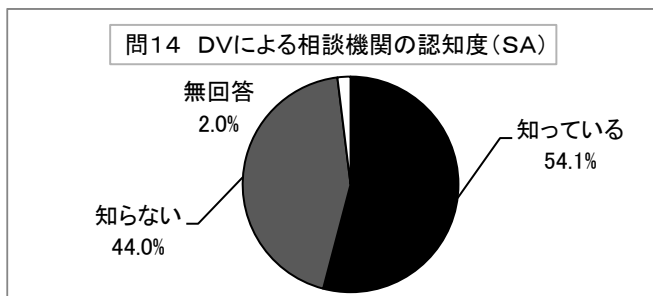


「ワーク・ライフ・バランス」という言葉については、「聞いたことはあるが、内容はわからない」の割合が最も高く 34.9%であり、「言葉も内容も知っている」の割合は 32.5%であった。

年代別では、「言葉も内容も知っている」割合は、18歳から29歳の57.3%が最も高く、次いで30歳代の44.2%であった。

問 1 4 男女共同参画社会の実現には、あらゆる暴力の根絶に向けた啓発が必要です。
もし、あなたが配偶者等から暴力（DV※）を受けたときに、相談できる機関があるのを知っていますか。

※配偶者や恋人、親子など親しい関係の人から加えられる暴力。Domestic Violence の略。



（DV※）を受けたときに、相談できる機関があるのを知っている割合は 54.1%であった。

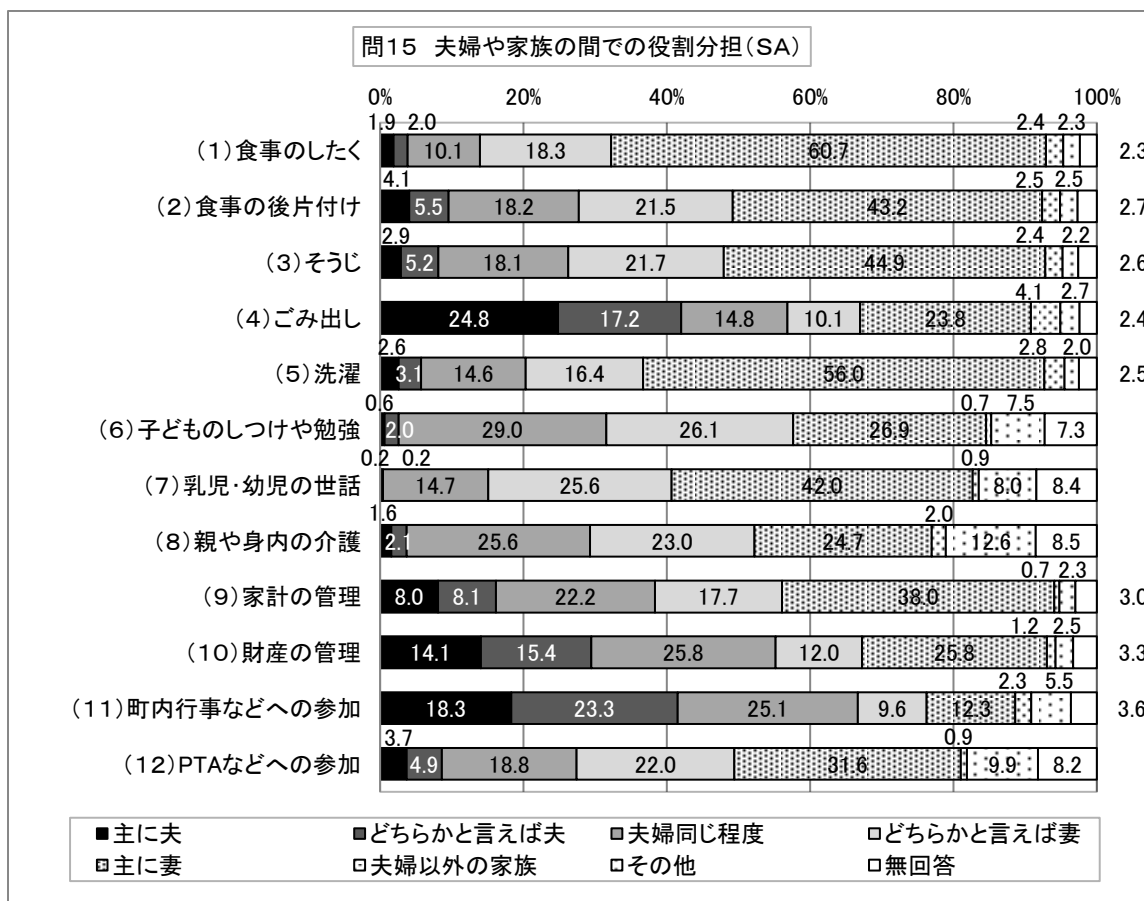
性別では、男性 47.9%、女性 60.4%であり、年代別では、50歳代が 64.3%と最も高い割合であった。

【結婚・家庭生活・子育て・介護について】

問 1 5 あなたは、次の(1)～(12)について、夫婦や家族の間でどのように分担していますか。
あてはまるものを1から7の中で1つずつ選んでください。

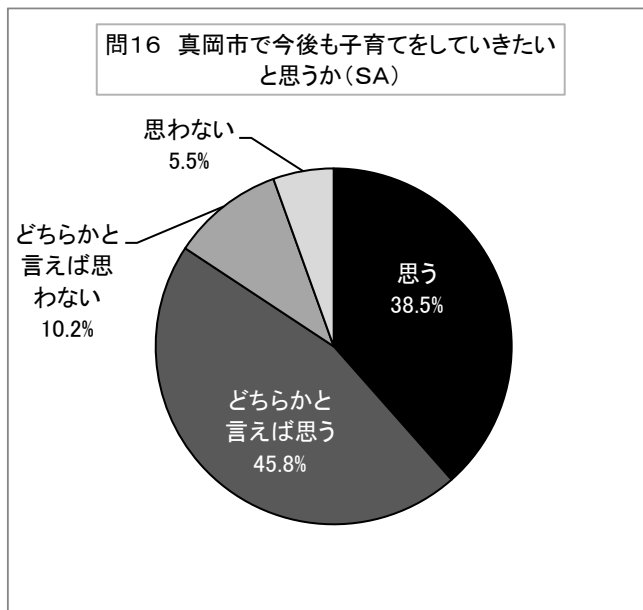
夫婦や家族間での役割分担については、「食事のしたく」、「食事の後片付け」、「そうじ」、「洗濯」、「子どものしつけや勉強」、「乳児・幼児の世話」、「家計の管理」、「PTA などへの参加」など、8項目で「主に妻」又は「どちらかと言えば妻」が 50%以上であり、その割合は 53.0%から 79.0%であった。

一方、「ごみ出し」、「町内行事などへの参加」の2項目においては、「主に夫」又は「どちらかと言えば夫」であり、その割合は 41.6%から 42.0%であった。



【子育てについて】

問 1 6 あなたは、真岡市で今後も子育てをしていきたいと思いますか。



真岡市で今後も子育てをしていきたいについては、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は84.3%であった。

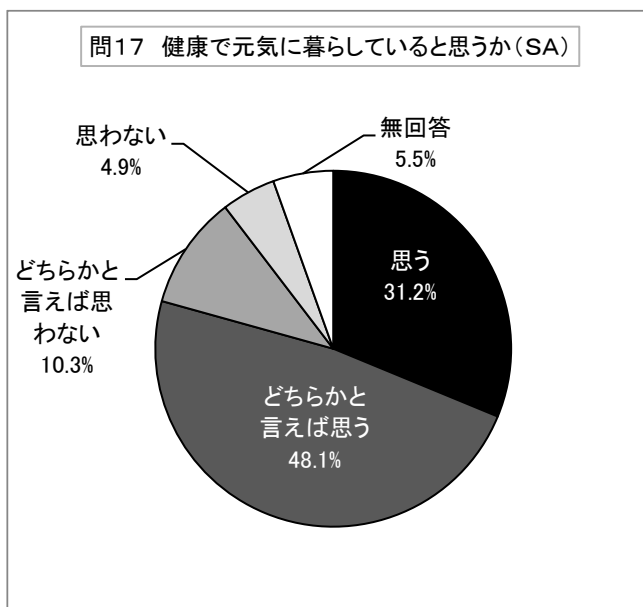
性別では、男性82.4%、女性87.4%。

年代別では、年代が上がるに連れて割合が高くなる傾向がある。

居住地区別では中村地区の92.2%が最も高い割合であった。

【健康づくりの推進】

問 1 7 あなたは、健康で元気に暮らしていると思いますか。



健康で元気に暮らしているについては、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は79.3%であった。

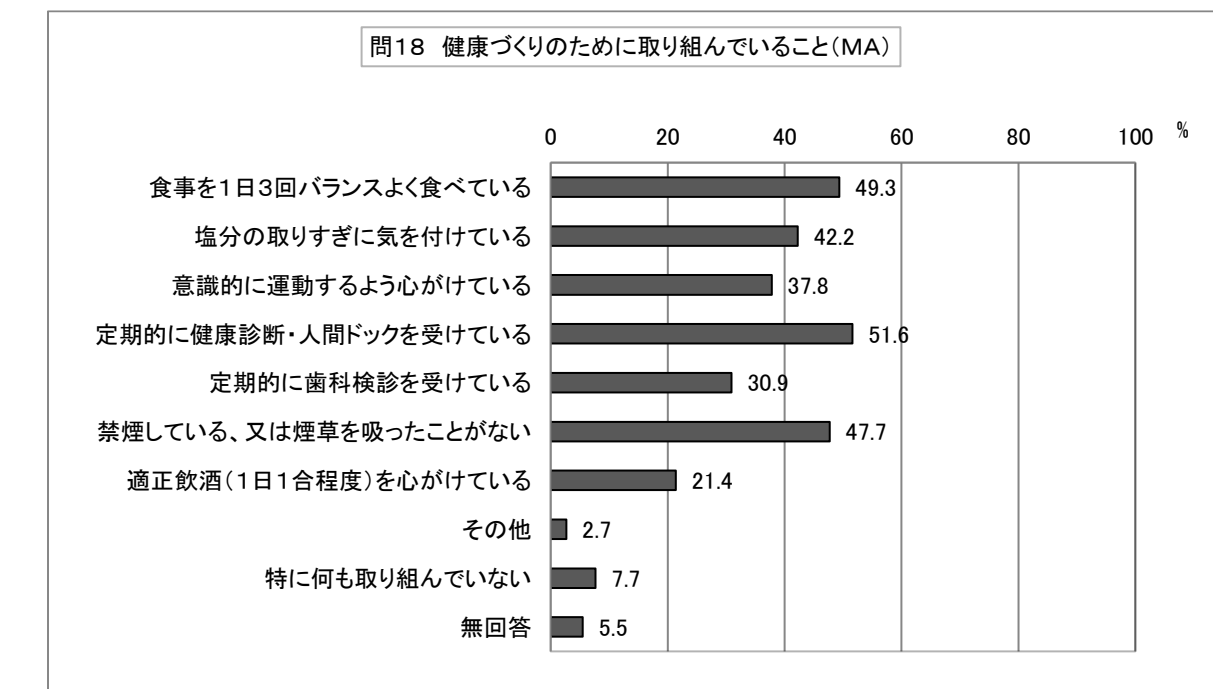
性別では、男性76.8%、女性82.4%。

年代別では、30歳代が90.0%で最も高く、次いで18歳から29歳が83.5%であった。

問18 あなたは、健康づくりのためにどのようなことに取り組んでいますか。

健康づくりのための取り組みについては、「定期的に健康診断・人間ドックを受けている」が51.6%で最も高く、次いで「食事を1日3回バランスよく食べている」49.3%、「禁煙している、又は煙草を吸ったことがない」が47.7%であった。

年代別では、各項目、年代が上がるに連れて健康意識が高くなる傾向がある。



◆◆◆ 施策2-6 健康づくりの推進

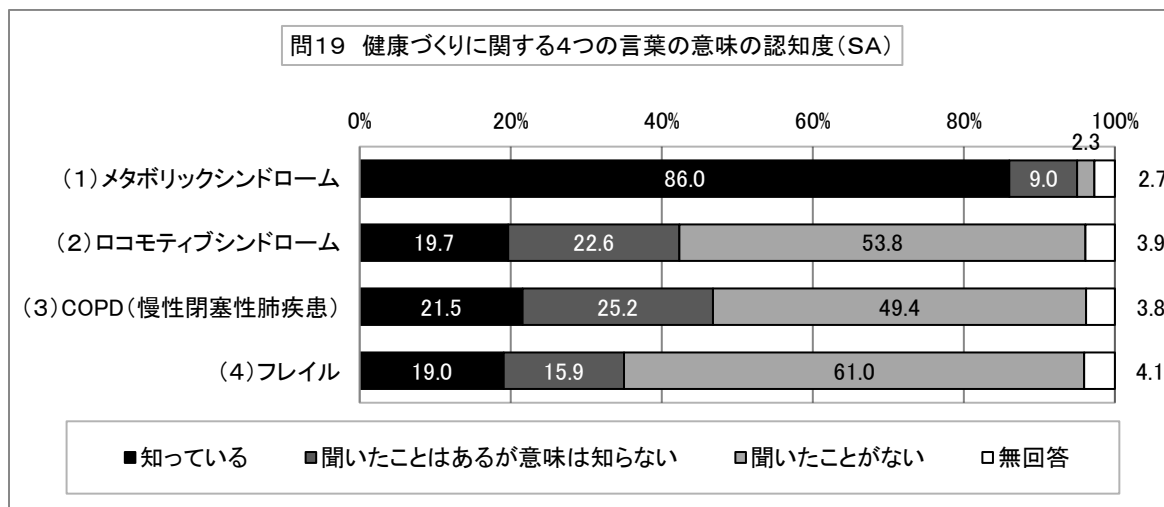
〔成果指標〕 『健康づくりに取り組んでいる市民の割合』※ (％)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
取り組んでいる	87.4	88.2	84.1	88.0	87.6	86.8
前年度比	-0.6	0.8	-4.1	3.9	-0.4	-0.8

※100%から「特に何も取り組んでいない」と「無回答」の割合を差し引いたもの

問 1 9 あなたは、健康づくりに関する次の言葉の意味を知っていますか。

健康づくりに関する言葉の意味については、「メタボリックシンドローム」は「知っている」が 86.0%と認知度は高い。一方、「ロコモティブシンドローム」は 19.7%、「COPD」は 21.5%、「フレイル」は 19.0%であり、認知度が低い。



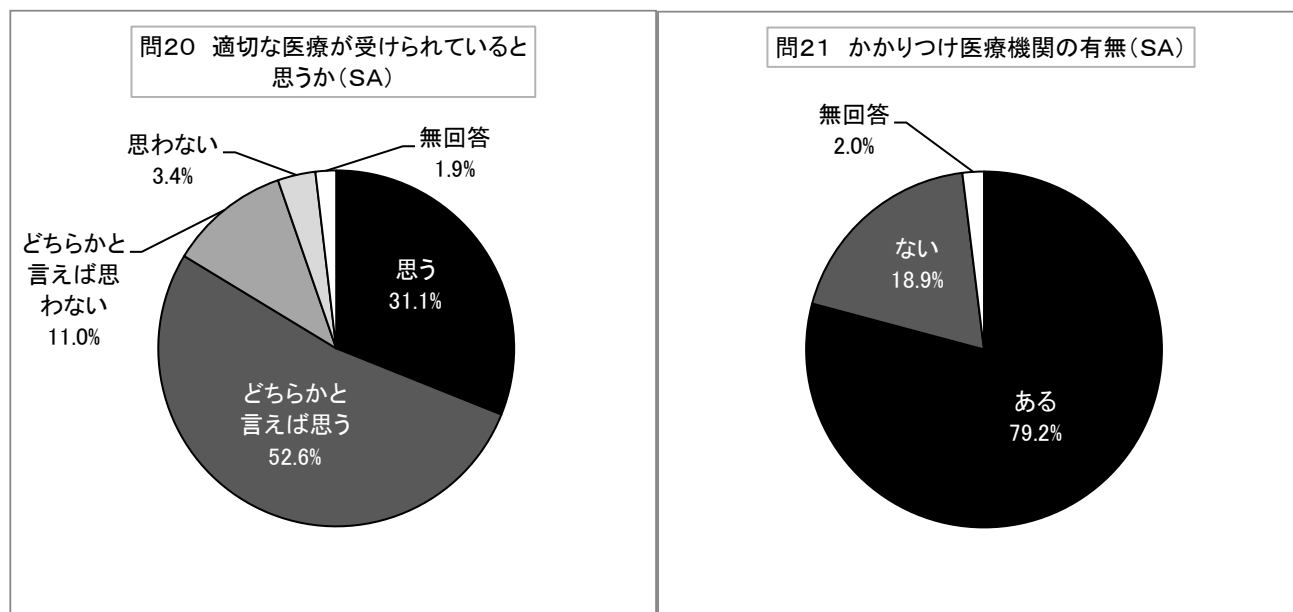
【地域医療体制の充実】

問 2 0 あなたは、地域で適切な医療が受けられていると思いますか。

問 2 1 あなたは、かかりつけの医療機関がありますか。

地域で適切な医療が受けられていると思うについては、「思う」が 31.1%、「どちらかと言えば思う」が 52.6%であった。

かかりつけの医療機関の有無については、「ある」が 79.2%、「ない」が 18.9%であった。

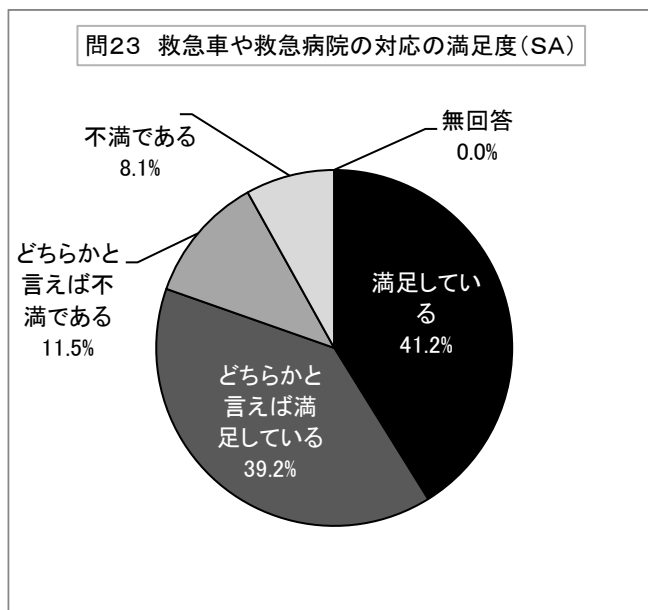


〔成果指標〕 『市内の医療体制に満足している市民の割合』 (%)

◆◆◆ 施策２－７ 地域医療体制の充実 ◆◆◆

〔成果指標〕 『かかりつけ医を持っている市民の割合』 (％)

問 2 3 問 2 2 で「1. ある」と答えた方にお聞きます。救急車や救急病院の対応に満足しましたか。



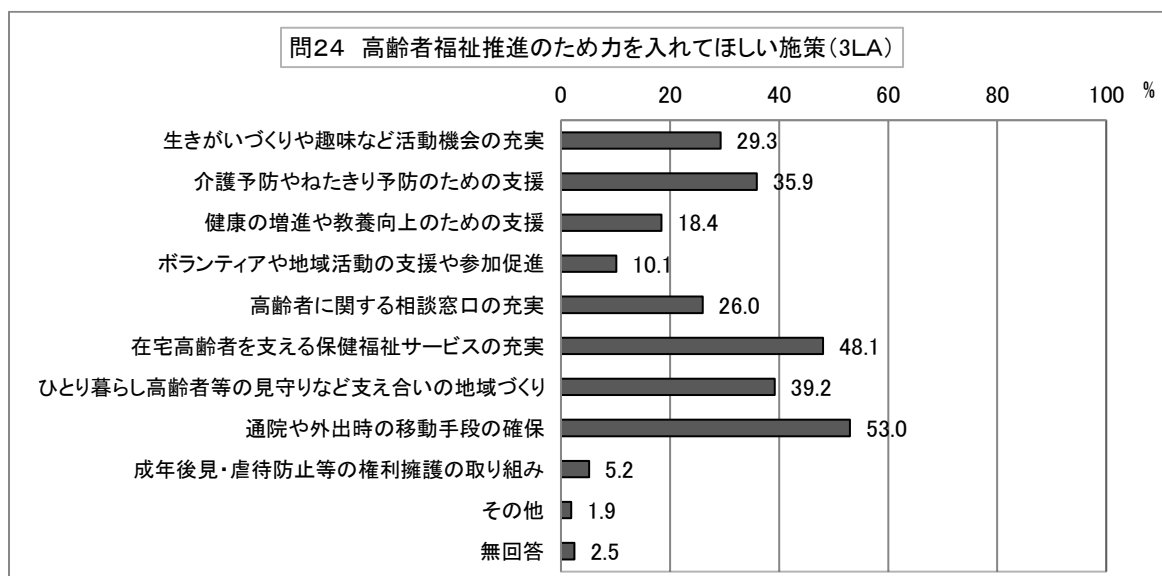
救急車や救急病院の対応については、「満足している」「どちらかと言えば満足している」を合わせると 80.4%であった。

【高齢者福祉の充実について】

問 2 4 高齢者福祉施策の推進のため、あなたが力を入れてほしいと思う内容を 3 つまで 選んでください。

高齢者福祉で力を入れてほしい施策については、「通院や外出時の移動手段の確保」53.0%が最も高く、次いで「在宅高齢者を支える保健福祉サービスの充実」48.1%、「ひとり暮らし高齢者等の見守りなど支え合いの地域づくり」39.2%であった。

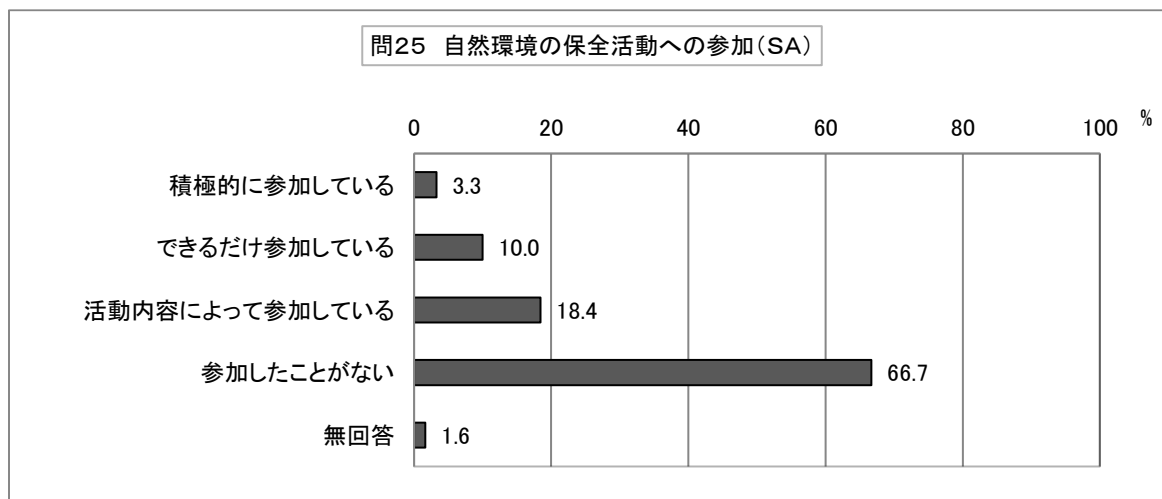
年代別では、50歳代の「通院や外出時の移動手段の確保」61.6%が最も高く、次いで40歳代 55.9%、60歳代 53.1%の順であった。



【自然環境の保全と保護について】

問 25 あなたは、里山保全活動や河川の草刈・清掃活動、動植物の生息地の保全や生き物調査など、市内の自然環境の保全活動に参加していますか。

自然環境の保全活動への参加については、「活動内容によって参加している」が18.4%、「できるだけ参加している」が10.0%、「積極的に参加している」が3.3%であった。



◆◆◆ 施策５－４ 自然環境の保護と地球温暖化対策の推進

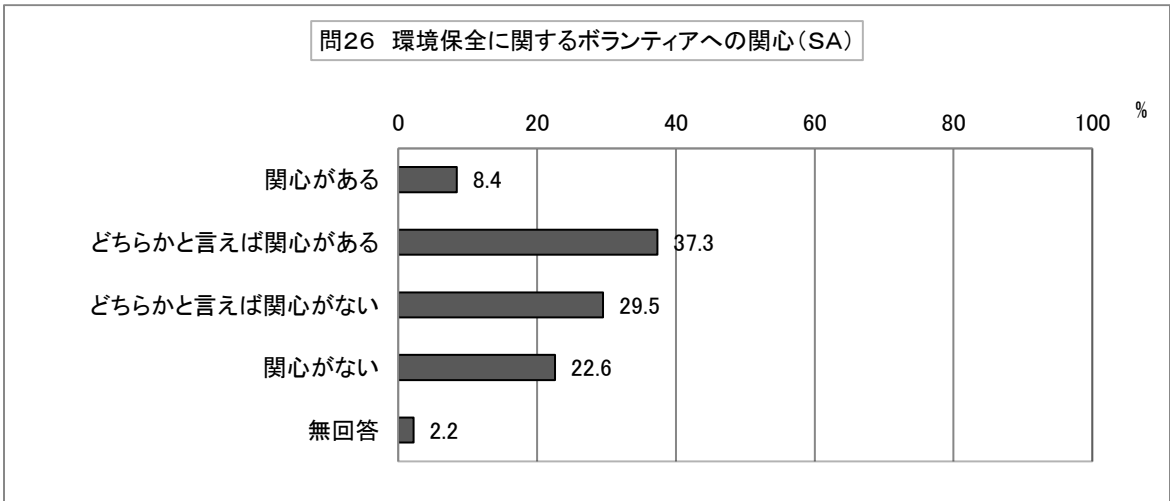
〔成果指標〕 『具体的な行動を実践している市民の割合』 (%)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
積極的に参加している	3. 2	2. 5	2. 8	3. 6	2. 7	3. 3
できるだけ参加している	7. 1	8. 6	8. 7	8. 3	12. 9	10. 0
活動内容によって 参加している	12. 4	11. 4	16. 7	14. 8	15. 9	18. 4
合 計	22. 7	22. 5	28. 2	26. 7	31. 5	31. 7
前年度比	-0. 2	-0. 2	5. 7	-1. 5	4. 8	0. 2

問 26 あなたは、環境保全に関するボランティア活動に関心がありますか。

環境保全に関するボランティア活動の関心については、「関心がある」「どちらかと言えば関心がある」を合わせると 45.7%であった。

年代別では、70歳代の56.7%が最も高く、次いで60歳代の47.7%、50歳代の43.3%の順であった。



◆◆◆ 施策５－４ 自然環境の保護と地球温暖化対策の推進

〔成果指標〕 『市民の環境保全ボランティアへの関心の度合い』 (%)

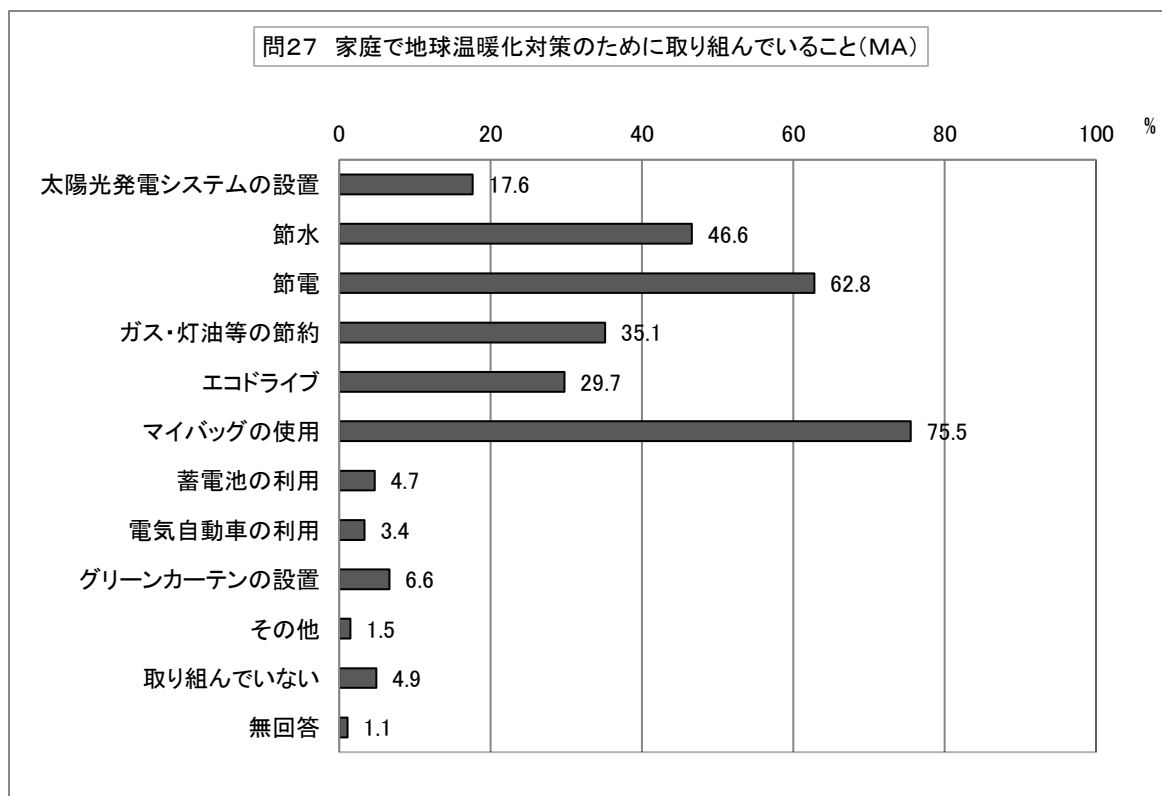
	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
関心がある	5.7	7.7	9.3	6.9	7.3	8.4
どちらかと言えば 関心がある	34.5	31.5	34.7	35.2	36.8	37.3
合 計	40.2	39.2	44.0	42.1	44.1	45.7
前年度比	-1.7	-1.0	4.8	-1.9	2.0	1.6

問 27 あなたは、家庭で地球温暖化対策に取り組んでいることはありますか。

家庭で地球温暖化対策に取り組んでいることについては、94.0%が何かしらの取り組みを実施している。

その内容（複数回答）は「マイバッグの使用」が75.5%で最も高く、次いで「節電」が62.8%、「節水」が46.6%であった。

成果指標である「節電」に取り組んでいる市民の割合では、年代別で、60歳代の72.0%が最も高く、次いで70歳代の70.6%、50歳代の61.2%の順であった。



◆◆◆ 施策５－４ 自然環境の保護と地球温暖化対策の推進 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕 『節電に取り組んでいる市民の割合』※ (％)

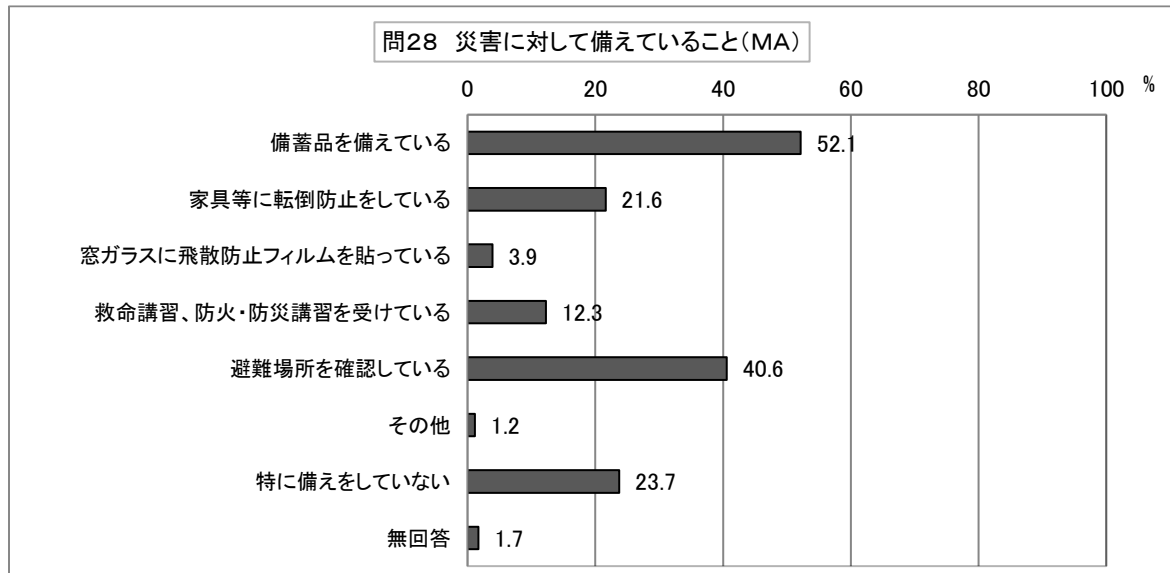
	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
節電に取り組んでいる	54.5	53.8	53.6	57.9	62.7	62.8
前年度比	-7.3	-0.7	-0.2	4.3	4.8	0.1

※「節電」と回答した割合を表示しています。

【消防・防災対策について】

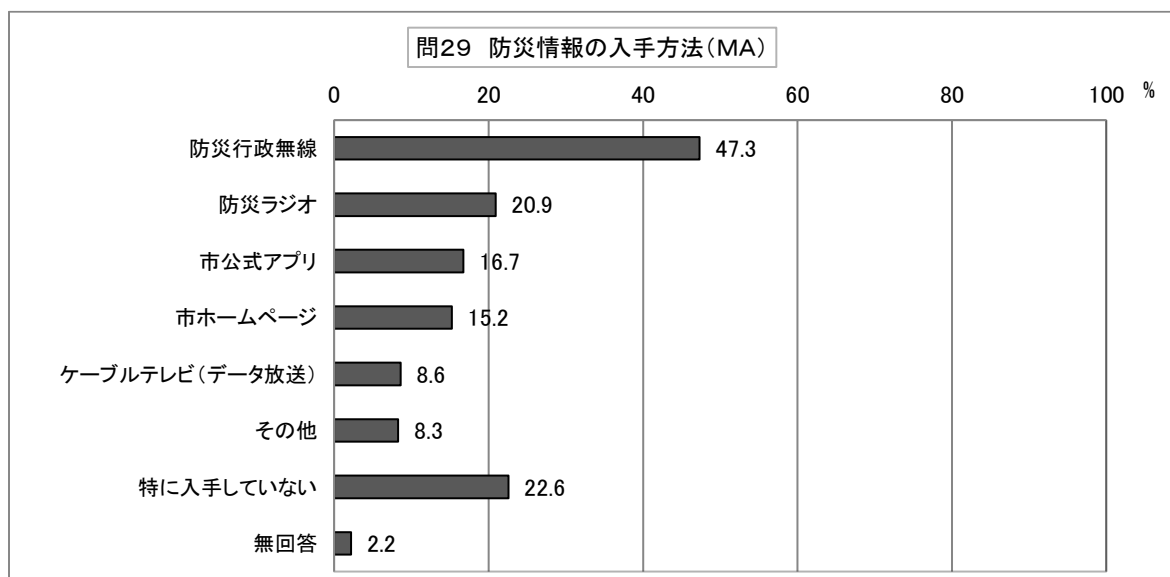
問 2 8 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。

災害に対しての備えについては、「備蓄品を備えている（水、非常食、ラジオ、懐中電灯、マスク、体温計、生活用品等）」の 52.1%が最も高く、次いで「避難場所を確認している」の 40.6%、「家具等に転倒防止をしている」の 21.6%の順であった。



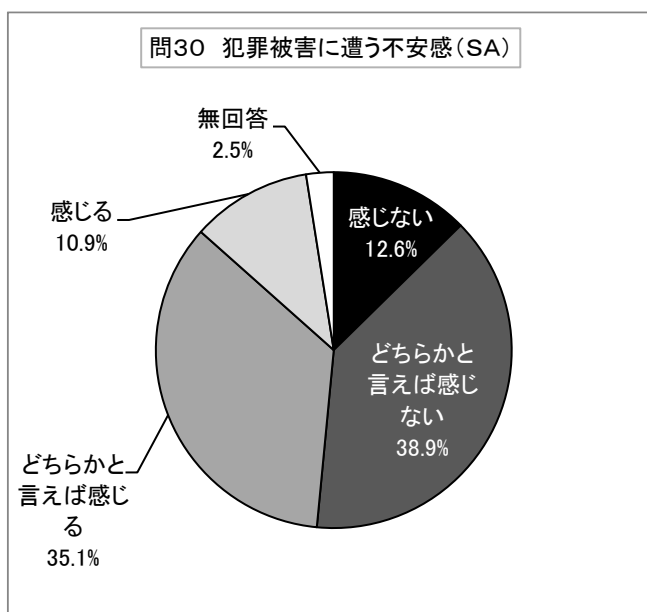
問 2 9 あなたは、防災情報（気象情報、避難情報等）をどのように入手していますか。
あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

防災情報の入手方法については、「防災行政無線」の 47.3%が最も高く、次いで「防災ラジオ」の 20.9%、「市公式アプリ」の 16.7%の順であった。



【防犯対策について】

問 30 あなたは、真岡市で生活していくうえで、犯罪に対する不安を感じますか。



犯罪に対する不安については、「不安を感じる」、「どちらかと言えば不安を感じる」を合わせて 46.0%であった。

年代別では、80歳以上の80.0%が最も高く、次いで60歳代の52.7%、30歳代の48.4%であった。

居住地区別では、二宮地区の 48.9%が最も高く、次いで中村地区の 48.8%、山前地区の 48.6%であった。

◆◆◆ 施策5-8 防犯対策の推進

〔成果指標〕『犯罪に不安を感じている市民の割合』

(%)

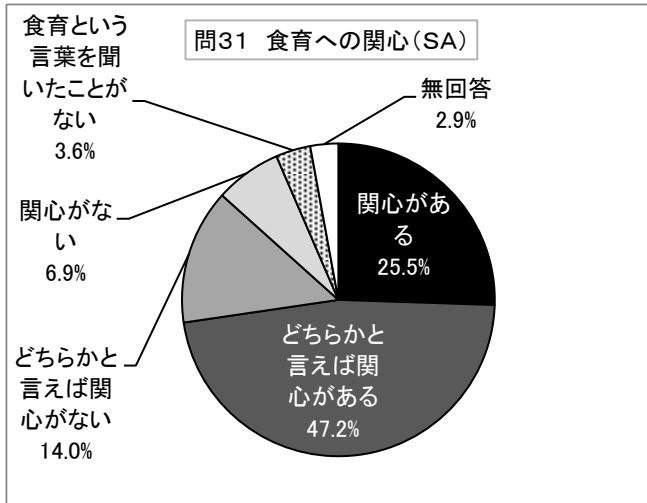
	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
感じる	13.2	13.1	14.3	10.0	11.2	10.9
どちらかと言えば感じる	41.1	39.9	34.9	33.9	36.4	35.1
合 計	54.3	53.0	49.2	43.9	47.6	46.0
前年度比	3.1	-1.3	-3.8	-5.3	3.7	-1.6

【農業の振興（食育の推進）について】

問 3 1 あなたは、食育に関心がありますか。

問 3 2 あなたは、食品の安全性に不安を感じていますか。

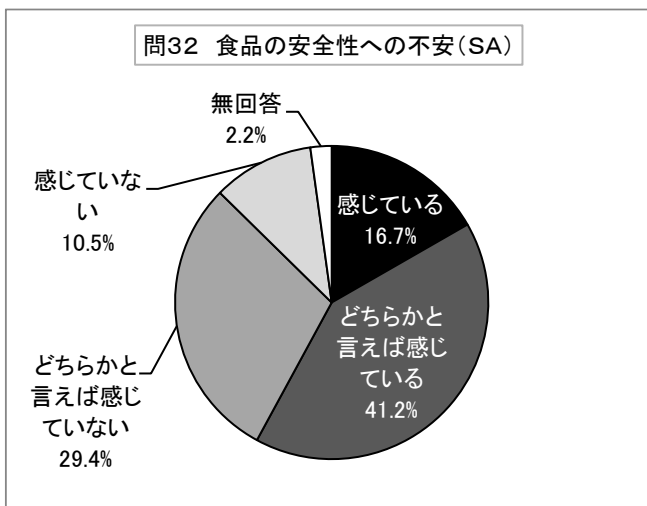
問 3 3 あなたは、食事バランスガイドの内容を理解していますか。



食育への関心については、「興味がある」、「どちらかと言えば関心がある」を合わせると、72.7%であった。

性別では、男性 67.1%、女性 79.0%であり女性の方が関心度が高い。

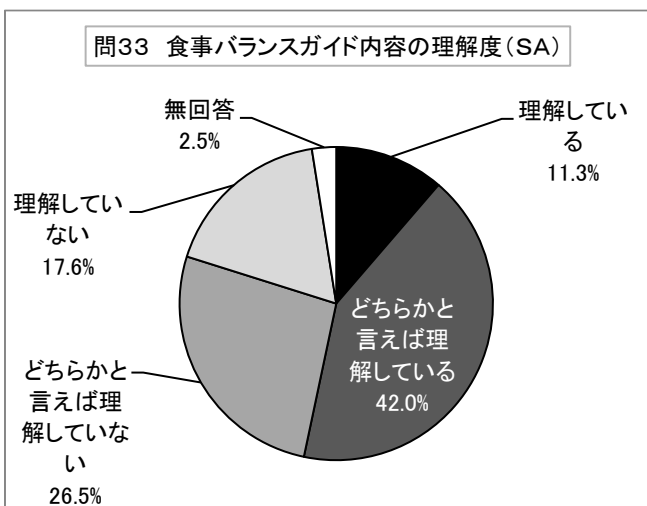
年代別では、60歳代の 80.7%が最も高く、次いで50歳代の 74.1%であった。



食品の安全性については、不安を「感じている」、「どちらかと言えば感じている」を合わせると、57.9%であった。

性別では、男性 53.1%、女性 62.5%であった。

年代別では、80歳以上の 80.0%が最も高く、次いで60歳代の 66.5%であった。



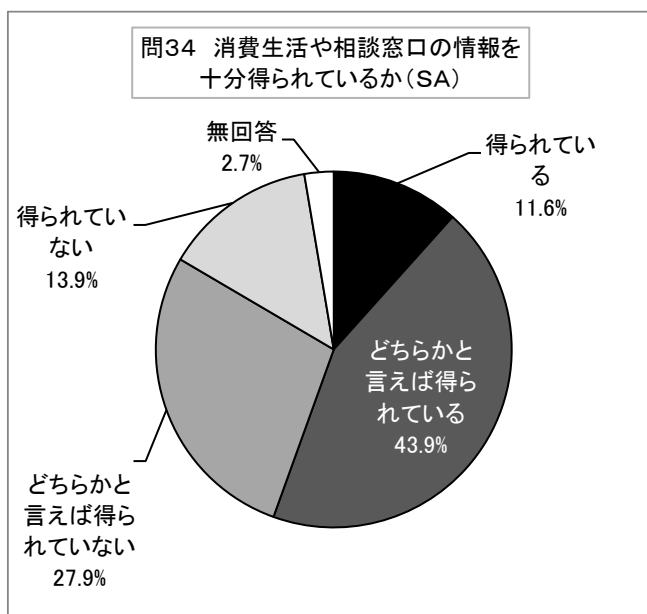
食事バランスガイドの内容については、「理解している」、「どちらかと言えば理解している」を合わせると 53.3%であった。

性別では、男性 44.4%、女性 62.1%であり女性の方が理解度が高い。

年代別では、70歳代の 62.9%が最も高く、次いで60歳代の 55.5%であった。

【消費者の自立と保護について】

問 3 4 あなたは、普段から悪質商法などの消費生活に関する情報や、その相談窓口の情報などを十分に得られていますか。



消費生活に関する情報が十分に得られていると感じている市民の割合は、「得られている」「どちらかと言えば得られている」を合わせると 55.5%であった。

居住地区別では、中村地区が 60.6%で最も高く、次いで大内地区が 59.2%、山前地区が 57.8%であった。

一方、年代別では、18歳から29歳の40.8%が最も低い割合であった。

◆◆◆ 施策6-4 安全で安心な消費生活の推進 ◆◆◆

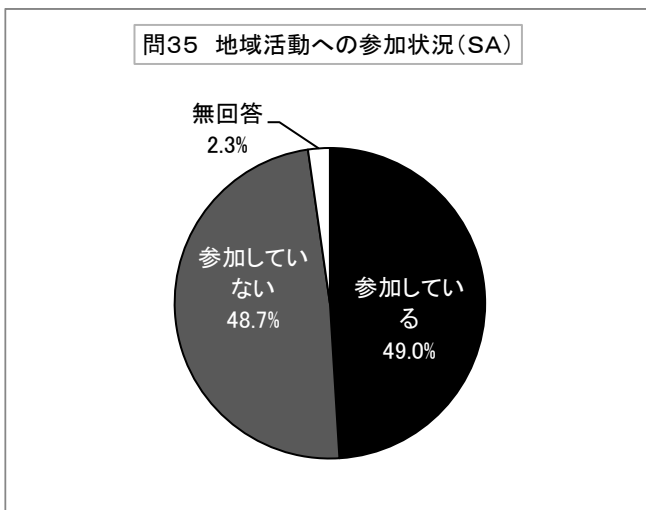
〔成果指標〕 『消費生活に関する情報が十分に得られていると感じている市民の割合』 (％)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
得られている	4.0	3.9	14.2	12.3	11.6	11.6
どちらかと言えば得られている	30.2	31.5	40.6	42.1	41.4	43.9
合 計	34.2	35.4	54.8	54.4	53.0	55.5
前年度比	0.8	1.2	19.4	-0.4	-1.4	2.5

【市民協働のまちづくりについて】

問 3 5 あなたは、現在、地域での活動※に参加していますか。

※地域での活動とは、自治会活動・地域公民館活動など。



地域活動への取り組みについては、「参加している」方が49.0%であった。

年代別では、60歳代の方が59.8%で最も高く、次いで50歳代が56.7%、70歳代が53.9%であった。

居住地区別では、山前地区が 67.9%と最も高く、次いで中村地区が 61.8%、大内地区が 59.1%、二宮地区が 53.7%、真岡地区が 40.0%であった。

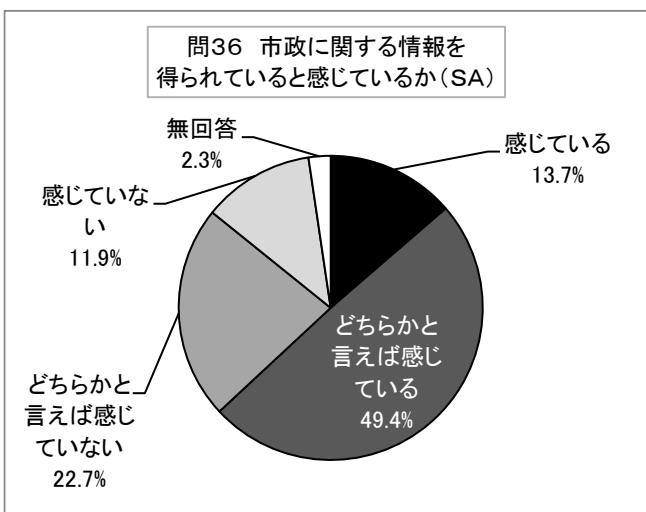
◆◆◆ 施策6-2 市民協働のまちづくり

[成果指標] 『まちづくりに参加している市民の割合』 (%)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
参加している	41.7	40.1	46.4	46.3	43.9	49.0
前年度比	2.0	-1.6	6.3	-0.1	-2.4	5.1

【開かれた市政について】

問36 あなたは、広報紙等により、市政に関する情報を得られていると感じていますか。



市政に関する情報の入手については、「感じている」、「どちらかと言うと感じている」を合わせると 63.1%であった。

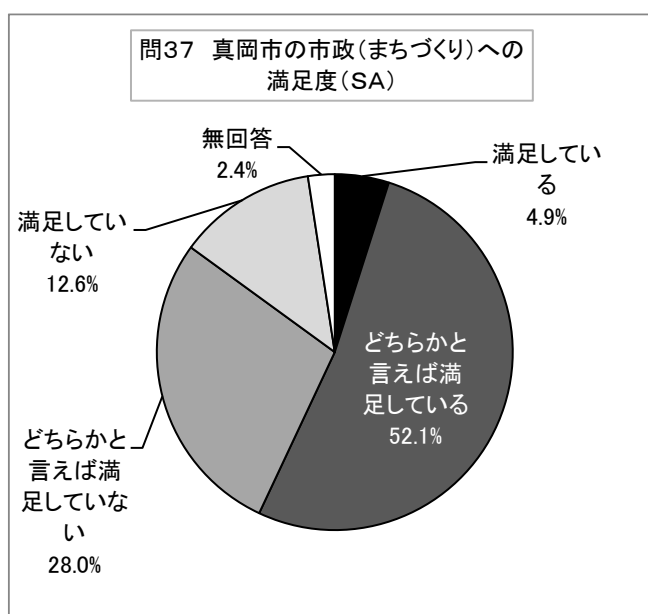
年代別では、80歳以上が80.0%で最も高く、次いで70歳代が70.6%、50歳代が70.5%であった。

〔成果指標〕 『市政に関する情報を得られていると感じている市民の割合』 (％)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
感じている	14.2	15.8	14.7	15.7	14.5	13.7
どちらかと言えば 感じている	53.9	48.4	47.6	50.4	50.5	49.4
合 計	68.1	64.2	62.3	66.1	65.0	63.1
前年度比	4.1	-3.9	-1.9	3.8	-1.1	-1.9

【その他】

問 37 あなたは、真岡市の市政（まちづくり）に満足していますか。



市政（まちづくり）に対しての満足度については、「満足している」、「どちらかと言えば満足している」を合わせると、57.0%の方が満足している。

年代別では、18歳から29歳が62.2%で最も高く、次いで70歳代が61.9%、80歳以上が60.0%であった。

居住地区別では、中村地区の 64.7%が最も高く、次いで山前地区の 60.6%、大内地区の 57.0%、真岡地区の 56.3%、二宮地区の 51.5%の順であった。

〔成果指標〕 『まちづくりに対しての市民の満足度』 (％)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
満足している	6.4	6.8	3.6	4.7	5.5	4.9
どちらかと言えば 満足している	62.8	58.1	46.1	52.9	50.2	52.1
合 計	69.2	64.9	49.7	57.6	55.7	57.0
前年度比	1.8	-4.3	-15.2	7.9	-1.9	1.3

令和 6 (2024) 年度
施策評価にかかる『成果指標』把握のための
市 民 意 向 調 査 報 告 書
令和 6 (2024) 年 6 月

編集・発行 真岡市総合政策部総合政策課
〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191
TEL : 0285-83-8102
FAX : 0285-83-5896
E-mail : sougouseisaku@city.moka.lg.jp
<https://www.city.moka.lg.jp>
